



「感謝」

飯田 夕和

Terima kasih、ありがとうで溢れるインドネシア。気づけばありがとうと口にしていた。現地の人たちの心の幸福度が高いからだろう。尾木先生や JICA の方々、訪問・視察先で出会った方の背景や想いを知り、心と心で繋がることができた。また、暮らしを支えてくれている人、残留日本兵の存在や想いを知ったことで、日々の生活に感謝し、過去から学び未来をより良くする必要があると感じた。きっかけがあれば意識が変わる。意識が変われば行動が変わる。「知る」きっかけを与えてもらったからこそ、次は自分がきっかけづくりをしていきたい。特に、13 人の強い志と愛を持った仲間に出逢えたことは、人生の大きな糧となった。それぞれが学んだことを自分と結び繋げて発展させていく姿に、何事も自分と関係ないことは何一つなく、自分事として捉える大切さを改めて強く感じた。自分では生み出せない問いに触れ、深く話し合ったことで学ぶことや生きていることがこんなにも楽しく幸せなのかと自然と自分の心の幸福度が高くなっていることに気づいた。現地の子どもたちの異文化を知り理解しようとする姿勢や吸収力、学ぶ意欲の高さが印象的で、教育の重要性を再認識した。子どもたちの可能性を広げるため、これからも教育を追究していく。そして、楽しむ気持ちや愛を持って人との繋がりを大切に、出逢いに感謝しながら一日一日を大切に生きていく。教育は、様々な社会問題を解決するための「鍵」である。